

主要事業の指標一覧

指標	H25(2013)年度末 実績	H30(2018)年度末 実績	R6(2024)年度末 目標
水質基準不適合率 年間に実施した水質検査のうち規定値に達しなかった割合	0%	0%	0%を維持
更新済延長 (2013年度～) 配水管更新計画のうち更新を終えた配水管の延長	61km	381km	704km
浄水場事故割合 過去10年間に必要とされる水量の一部でも送水できなかった件数	0件	0件	0件
浄水場の耐震化率 耐震化が完了した浄水施設の割合	18.6%	19.2%	21.1% ^{*1}
配水池の耐震化率^{*2} 耐震化が完了した配水池等の割合	71.0%	84.5%	84.8%
配水幹線の耐震化率 耐震化が完了した配水幹線の割合	38.5%	40.8%	43.0%
供給ルートの耐震化が完了した医療機関の数^{*3} 対象とする医療機関へ向かう配水管の耐震化を完了した数	30か所	60か所	89か所
供給ルートの耐震化が完了した指定避難所(基幹)の数 対象とする指定避難所(基幹)へ向かう配水管の耐震化を完了した数	0か所	22か所	45か所
緊急遮断弁の設置数^{*4} 緊急遮断弁の設置数	15か所	16か所	20か所
応急給水施設密度^{*5} 給水区域100km ² あたりの応急給水できる貯水拠点の数	15.2か所/ 100km ²	21.2か所/ 100km ²	28.1か所/ 100km ²

【備考 / 札幌水道ビジョン改定(2020年3月)による変更点等】

※1 定山深浄水場の耐震化がビジョン期間中に完了しない見通しにつき目標値を修正

※2 水道事業ガイドライン(2016.3改正)に伴い算出方法を変更

※3・4 単位を割合(%)から数(か所)に変更

※5 水道事業ガイドライン(2016.3改正)に伴い名称を変更。白石庁舎の緊急貯水槽が廃止となり、施設数が減少するため目標値を修正

指 標	H25(2013) 年度末 実 績	H30(2018) 年度末 実 績	R6(2024) 年度末 目 標
飲料水を備蓄している人の割合 アンケートで自宅に飲料水を備蓄していると回答した人の割合	50%	61.8% ^{※6} (2019 年度実績)	70%
水道記念館の年間来館者数 1 年間に水道記念館に来館した人数	112,330 人 / 年	80,309 人 / 年 ^{※7}	120,000 人 / 年
電話受付センターの応答率 全入電件数に対して、電話受付センターのオペレーターが 対応した件数の割合	—	44%	85%
危険物取扱事業者への立入調査実施率 対象施設 (3,670 件) のうち、立入調査を実施した施設の割合	12.1% [累計 444 件]	34.5% [累計 1,265 件]	50.8% ^{※8} [累計 1,865 件]
企業債残高 企業債の残高	1,074 億円	709 億円	610 億円以下
内部研修時間 職員1人あたりが年間に受講した内部研修の平均時間	21.8 時間	17.8 時間	23.0 時間
外部研修時間 職員1人あたりが年間に受講した外部研修の平均時間	4.4 時間	7.9 時間	7.0 時間
国際交流数 海外との年間交流件数	7 件	5 件	9 件
道内他事業体が参加する研修会等の年間開催回数 道内の他事業体が参加する研修会や技術講習会などの 年間開催件数	2 回	8 回	10 回 ^{※9}
再生可能エネルギー発電量 1 年間に水道事業で行う水力発電及び太陽光発電で 発電されたエネルギー量	297 万 kWh	336 万 kWh	760 万 kWh

※6 清田区・厚別区の北海道胆振東部地震時の断水エリアを除く、直結直圧給水方式の水道契約者の回答数値（清田区・厚別区の断水エリアの契約者では 69.9%、その他のエリアでの受水槽又は直結加圧方式の水道契約者では 70.0%）

※7 H30（2018）年度は改修工事を実施したため、例年より開館期間が2か月短縮

※8・9 計画前半5年間の実績から目標値を上方修正